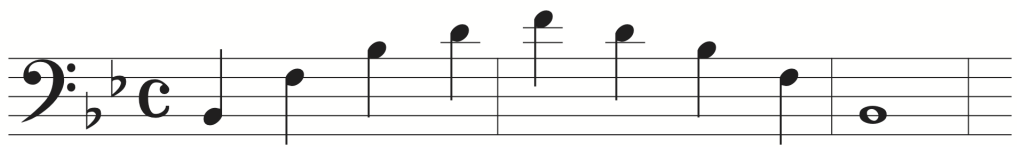


# 基礎練習

## (リップスラー)

★リップスラーは唇の柔軟性を高めて音域を広げる効果があります

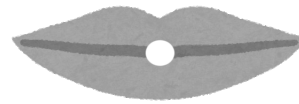
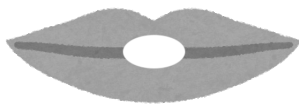
### ★アパッチュアと息の関係



アパッチュア	○	○	○	○	○	○	○	○	
息のスピード	遅	—————			早	—————			遅
息の量	多	—————			少	—————			多

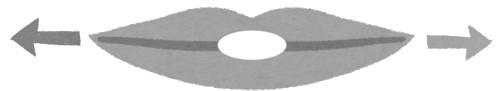
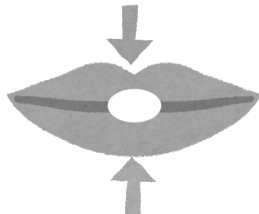
- ・まっすぐな息の流れを意識する
- ・ピッチ（音程）に注意→戻ってきたときの音が始めの音のピッチになるように
- ・（前の音の）バランスがおかしいと次の音は鳴らせない  
→うまくいかないときは前の音がしっかり鳴っているか確認する

唇を振動させたまま、息のスピードや圧力（お腹の支え）、アンブシュアの調節で音をつなぎます

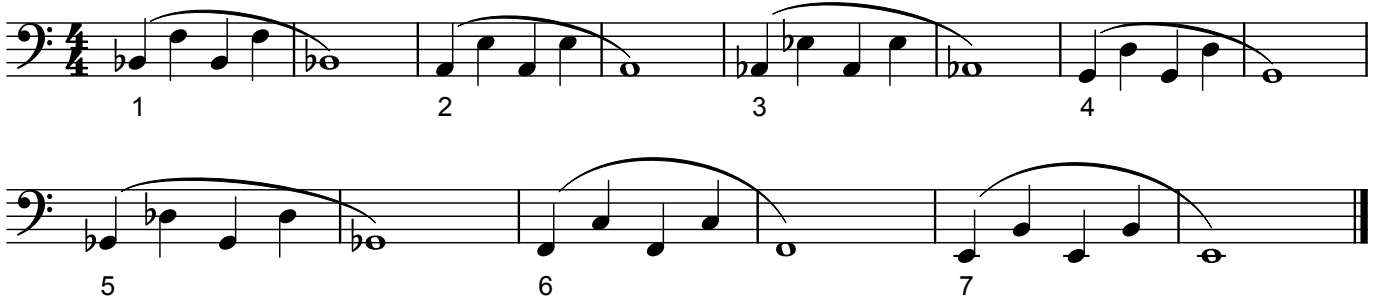
アンブシュアの調節は唇の上下運動を意識します。

✖唇を横に引っ張らないように注意しましょう。



### 練習例1

♩ = 60~ (もっとゆっくりでもよい)



## 練習例2

上手くいかないときは、タンギングとリップスラーを交互にやってみても良いです

以下は練習パターンですが順番通り全てやる必要はありません。無理なく、慣れてきたら少しずつ難しいものにチャレンジしてみましょう

1

2

3

4

5

6

7

8

1 2 3 4 5 7ポジションまで

9

1 2 3 7ポジションまで

10

1 2 3 7ポジションまで

11

1 2 3 7ポジションまで

12

1 2 3 7ポジションまで

13

1 2 3 4 7ポジションまで

14

1 2 3 7ポジションまで

15

3 3 3 3 7ポジションまで

16

1 2 3 7ポジションまで

17

1 2 3 7ポジションまで

18

1 2 3 7ポジションまで